

100

創刊100号 記念



たらぎ 議会だより

ニだま



3月 定例議会

28年度予算を可決 ..... P2~P3

主軸事業 ..... P4~P5

どうお考えか? 8人が問う ... P9~P16

No.100

平成28年5月12日  
熊本県多良木町議会発行

教育

校長

真剣に傍聴する多高生

# 00万円を可決!!

## 当初予算

・ 増える民生費は 33%に…!!

### の主なもの

関連記事はP4~5をご覧ください。

#### ◆企画観光課

地域おこし協力隊事業・・・1,070万円  
 農林商工祭事業・・・1,249万円  
 住宅リフォーム事業・・・1,500万円

#### ◆健康保険課

長寿年金支給事業・・・920万円  
 住民健康診断等委託料・・・5,313万円  
 妊婦健康診断委託料・・・656万円

#### ◆町民福祉課

障害者等福祉手当・・・371万円

#### ◆子ども対策課

子ども子育て利用者支援事業・・・264万円  
 保育料軽減・・・1,217万円

3月定例会議は報告4件・予算15件・条例14件・人事案件2件等審議し可決・同意した。議員発議の給食費半額助成・槻木関連予算修正動議(P6)は否決とした。  
 一般質問・施政方針に対する質問は8議員が登壇した。

### ■平成 28 年度 特別会計当初予算

国民健康保険(事業勘定)	15億6,149万円
国民健康保険(直診勘定)	694万円
久米財産区	884万円
上水道事業	1億7,737万円
下水道事業	2億9,479万円
介護保険	14億8,140万円
後期高齢者	1億3,888万円

3月30日議会で平成27年度一般会計補正予算1,131万2千円を追加、総額63億2,464万3千円とし下水道事業特別会計の補正予算と共に可決した。

# 平成28年度 一般会計

# 総額62億8,0

自主財源は 25%

## 平成 28 年度歳出予算

<b>◆環境整備課</b>	
橋梁防災安全整備事業	5,400万円
町道 □の坪覚井線整備事業	600万円
農業水利施設保全合理化事業(町負担)	6,902万円
<b>◆農林課</b>	
振興作物産地化モデル事業補助	57万円
青年就農給付金	825万円
木材需要拡大推進事業補助	500万円
<b>◆総務課</b>	
ヘリコプター緊急離着陸場整備	600万円
<b>◆教育委員会</b>	
黒肥地小学校校舎改修工事	2,023万円
武道館改修工事	1,300万円
町民体育館トレーニング室空調工事	220万円

### ■平成 27 年度より繰越される事業

(単位：千円)

事業名	金額	事業名	金額
里道等修繕事業	2,500	担い手確保・経営強化支援事業	4,850
情報セキュリティ強化対策事業	11,967	木材需要拡大推進事業	1,000
無線システム普及支援事業	53,669	立木搬出事業	18,038
たらぎ赤い糸プロジェクト事業	720	中小企業振興補助事業	8,829
個人番号カード交付事業	2,460	くまもと県南ローカルブランディング事業	249
年金生活者等支援臨時福祉給付金事業	55,290	町道維持修繕事業	2,333
認知症高齢者グループホーム整備事業	35,400	防火水槽撤去事業	480
子ども子育て支援システム改修事業	305		

# 事業を決めました



## 黒肥地小学校

### 校舎改修工事

2,023 万円

老朽化した、管理棟・教室棟・多目的棟の床の改修をします。



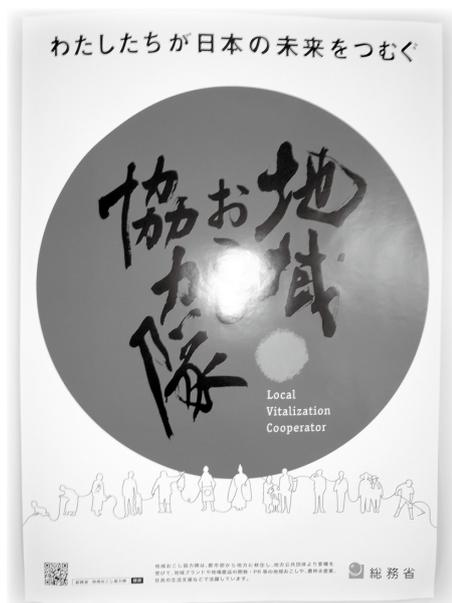
10,000 万円

防護柵設置等を行い森林経営・

## 町道 口の坪覚井線整備事業

600 万円

百太郎溝から幸の溝手前までの全長約 1.83kmの予備設計を行います。



## 地域おこし協力隊事業

1,070 万円

地域コミュニティ維持のため都市部の意欲ある人を受け入れ新たな視点・発想で新たな担い手を募集していきます。

# 平成28年にこんな

## 住民健康診断等

### 委託料

5,313 万円

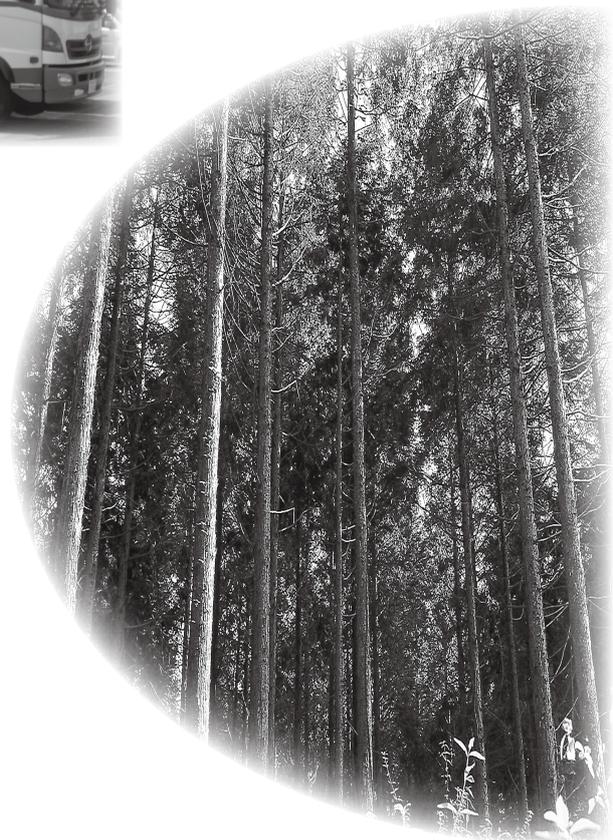
集団検診・人間ドック等の検診をし町民の健康づくりに努めていきます。



## 住宅リフォーム事業

1,500 万円

住宅の増改築等の工事など町の施工業者に発注に対しその経費の一部を補助していきます。



## 町有林造林事業

間伐・枝打ち・下刈り・再造林雇用促進を実施していきます。

## 保育料軽減

1,217 万円

子育て支援の一環として国の軽減策とともに町独自の保育料の軽減を計ります。



否決

# 28年度一般会計予算修正動議

「地域で生き抜くプロジェクト推進事業費 602 万 5 千円」を「ゼロ」に減額する動議が吉瀬議員から提出され質疑・審議の上それを否決した。

質疑として①これまでの支援員の活動や小学校再開校をどのように評価しているのか②報酬を減額ではなく「ゼロ」とするのはなぜか③槻木小学校に対する 1 人当たりの経費がかかりすぎるとあるが、柳野小はどう考えるのかなどの質疑がなされた。吉瀬議員自身の賛成討論「多額の予算を投入するより、地元の人材を活用しながら若者が残れるよう、町の中心部の再生に全力を傾注すべき」との討論を経て採決をした。

賛成○（1）：反対●（10）

林田	中村	瀬崎	山中	吉瀬	魚住	高橋	源嶋	久保田	宇佐	豊永
●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●

## 学校給食費半額助成制度の発議

否決

『近隣自治体では全額・半額の学校給食費助成制度が実施され、人吉市長も実施すると表明している。親の貧困が進むなか、少子化対策・子育てしやすい環境づくりの対策として制定すべき』との理由で吉瀬・源嶋両議員の賛成者で発議されたが質疑・討論を行い否決した。

**反対討論**

**豊永議員** 少子化対策には賛成だが、新人議員をふまえた形での議員間での相互理解のうえで発議をすべきではないか。町は地元米の提供や中学生の医療無料化等の施策もあり、厳しい財政事情の中で拙速に決めるべきではない。

**高橋議員** 町は給食事業費として年間約 6200 万円を負担し、申請による給食費免除制度もある。給食費の減額が必要であれば「弁当の日」の回数を増やす等、「町独自の食育」としての取り組みを投げかけても良いのではないか。給食費を含め、支援施策は重要であるが、その意味を慎重に検討する必要がある。

**賛成討論**

**源嶋議員** 町内の約 3 分の 1 の家庭は 2 0 0 万円以下の世帯があり、日本のこどもの貧困率は 6 人に 1 人である。子育て支援の町づくりをすべきである。

賛成○（4）：反対●（7）

林田	中村	瀬崎	山中	吉瀬	魚住	高橋	源嶋	久保田	宇佐	豊永
●	○	●	●	○	●	●	○	○	●	●

## 固定資産評価審査委員会委員を選任!!

### 新任紹介

下村良孝氏  
(多良木)



尾前延子氏(多良木)が平成28年3月をもって任期満了となるため選任しました

### 固定資産評価審査委員会とは

市町村に置かれる行政委員会であり、職務は法の定めにより、市町村長とは独立した中立的・専門的な立場から、固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査及び決定を行う委員会である。

任期は3年であり、納税者は台帳に登録された価格について不服がある場合は、審査委員会に審査の申出をすることができる。

## 新農業委員会委員を任命同意!!

農業委員会は農業生産力の向上と、農業経営の合理化を図り、農民の地位向上に寄与することを目的として、市町村に設置されている行政委員会である。

平成28年4月より(1)農業委員の選出方法を公選制から市町村長の選任制に変更(2)農地利用最適化推進委員の新設(3)農業委員会ネットワーク機構の指定等の改正が行われた。

定例議会において農業委員の任命同意案件を審議採決し、10名全員を賛成多数で任命に同意することに決定した。

新農業委員氏名	住所
岩崎 正行	久米
小田 康宣	多良木
児玉 ちさ子	久米
椎葉 史郎	久米
谷口 照幸	黒肥地
田山 俊博	黒肥地
西 丈一	多良木
西 辰郎	黒肥地
深水 良子	多良木
星原 一男	久米

(敬称略)

## みなさんからの請願・要望

件名及び要旨	提出者の住所・氏名	審議
<b>請願書</b> TPP協定を国会で批准しないことを求める請願	TPPなんさま撤回の会(熊本市中央区) 代表者 鳥飼 香代子 紹介議員 久保田 武治	継続
<b>要望書</b> 人吉球磨地域の薬草栽培振興を目的とした薬草加工所の建設について	多良木町薬草生産部会(多良木町) 部会長 猿渡 忠文	継続

# 8人が問う！ どうお考えか？

## 1. 林田俊策議員（9ページ）

- ①自動体外式除細動器（AED）の現状と今後の町民の安全確保はどうすべきか
- ②公民館活動の実態について
- ③施政方針について

## 2. 高橋裕子議員（10ページ）

- ①久米地区ふるさと農道の位置づけ
- ②公共施設等総合管理計画の策定について
- ③介護事業の方向
- ④人材育成について
- ⑤施政方針について

## 3. 豊永好人議員（11ページ）

- ①ふれあい交流センターえびすの湯事業について
- ②堆肥センター事業について
- ③くま川鉄道及び産交バス補助金について
- ④公立多良木病院経営について
- ⑤各行政区統合について

## 4. 山中 馨議員（12ページ）

- ①公立多良木病院について
- ②子供貧困率について
- ③防犯カメラについて
- ④ストレスチェックについて
- ⑤18歳選挙権について

## 5. 吉瀬浩一郎議員（13ページ）

- ①集落支援員制度と夢ビジョン・プロジェクト
- ②県道人吉水上線の現状
- ③AEDの設置

## 6. 久保田武治議員（14ページ）

- ①地方創生交付金について
- ②高齢者の買い物支援事業について
- ③川辺川ダム関連事業について
- ④施政方針について

## 7. 中村正徳議員（15ページ）

- ①施政方針について

## 8. 瀬崎哲弘議員（16ページ）

- ①施政方針について

## 加速化交付金 ゼロ!!

活性化特別委員会報告

総合戦略推進委員会の「総合戦略案」が示され、昨年10月に推進委員会との第1回の合同会議で協議・意見交換を行い「先行型交付金」獲得に向けて本格始動を開始した。

協議の場では「案」に対して両委員会とも全てを納得するものではなかったが、県の説明によると「指針プラン作成はいつでも見直しが効く」とのことで、議会としてもその「案」を了承する方向性で、今後の推進委員会での協議の推移を見守ることとした。

一方で活性化委員会は青年団や公開討論会実行委員の若年層との意見交換を行い、今後の委員会の方向性を見極める作業をしてきた。

その間執行部は次に「地方創生加速化交付金」の獲得に向け「町単独事業と広域連携事業」を国に対し申請してきた。

「加速化交付金」は1千億円の予算で県内配分は全国で3位であり「全国一律に配分するものではなく、明確な目標を立て頑張る自治体を支援する」と石破地方創生担当大臣が述べられているものである。

しかし残念ながら、本町は広域事業の24万9千円のみで町単独事業に関しては「ゼロ」回答であった。

原因を関係各所に確認したが、この交付金の趣旨の「人口増・雇用創出・町づくり」に合わなかったのではないかと言うことであり、今回この交付金の補正の100億円が前回漏れた市町村に再配分されるということで執行部・推進委員会・特別委員会の三者でその獲得に向け再始動することとした。

また国の28年度当初予算では「地方創生推進交付金」2000億円が予定されておりその獲得に向けても「三位一体」となり、獲得していく方向性の確認をしているところである。 文責 林田

## Q 『AED購入補助条例』を

## A 設置場所と効果を検討

**質問** AED（自動体外式除細動器）は現在公的施設に設置され、町民の間ではその操作方法は理解されていると思うが「身近なところには無い」といわれている。民間の事業所等の設置状況を含め実態調査をして、その「設置補助条例」を作るべきではないか。

**町長** 公共施設は74ヶ所設置してあり使用実態は一回だけである。まずは現在の設置場所の周知の徹底を町



もしものために

民に図りたい。区長より公民分館への設置の要望も出ているが、常に使用できている状態しておくべきと考える。民間事業所では多くの方が働いているので、設置の必要性は感じている。今後どのような場所に設置したらより効果があるか検討していきたい。

## Q 公民館活動の活性化は

## A 初期に研修をやり実施する

**質問** 少子高齢化を迎えるにあたり地域のコミュニティをしっかりと持たせて「助け合いの精神」を持つ公民館活動が重要であると考え

る。社会教育委員と公民館運営審議員は兼職となっている様だが、諮問はどのような事を行っているのか。また、区長と公民分館長との兼任も大半を占めているがどのような指導を行っているのか。

**信國教育振興課長** 公民館は町民の教育・学術・文化の増進に寄与する事を目的として、よりよい地域社会の形成をするために行っている。現在それぞれの公民館での活動をおこなっている。

**椎葉教育長** 審議会には兼職をお願いして事業の報告はしているが、今後諮問し審議をしていただく必要があると考えている。公民分館長は2年に1回研修を行っている。分館活動は基本的に自主活動が基本ではあるが、初期段階での研修の必要性は感じている。



活発化すべき分館活動

**岡本企画観光課長** 国の「加速化交付金の申請」の中で、町は観光交流推進・移住定住促進を大きな柱とした施策をあげている。その施策を推進していく組織を立ち上げなければならぬと考えている。加速化交付金不採択になった場合でも、これまでに設立に対し強い要望があっているのでも、早い段階で協会の設立をしたい。

## Q 観光協会設立は

## A 早い段階で設立

**質問** 「観光協会」を立ち上げるタイムスケジュールは

林田 俊策



高橋 裕子



### 命の道、久米地区 ふるさと農道は

### A 県と相談しながら

**質問** 以前にも質問しているが、久米地区には、東西に抜ける幹線道路が無い。災害時の命の道路・農林業に於いての産業道路・日本遺産の於いての観光ルート等として、人吉球磨の幹線道路としてもその重要性は計り知れない。その後の検討と、進捗状況は。

**町長** 重要なルートとして認識し、県に投げかけている。現在、久米小学校の安全を含め、県道43号線（錦湯前線）の方の整備を県の予算付けで行ってもらえているが、並行事業は厳しいと言われている。

**質問** 道路工事の場合に問題になるのが地籍調査だが、進捗状況は。

**今井事務課長** 久米地区の地籍調査は終了している。

**質問** 1次交渉ができれば、工事に取り掛かかれると思うので、「命の道路」として最優先で取りかかると、地域住民、近隣町村の意見を持って、現町道の県道昇格の可能性を含め、早急に交渉すべきでは。

**町長** 急々な問題なので、つながりのある湯前町の意向も聞きながら要望をし、県と相談をしていきたい。



どうする？ふるさと農道

### Q どうする介護事業

### A 予防事業の再検討を

**質問** 大きく財政的に扶助費の増加、人的に介護士の不足、組織的に事業所を含む地域力の連携等の課題があるが、どう取り組む考えか。

**仲川健康・保険課長** 基本的には「介護保険事業計画」

### Q 町の予算 としての課題は

### A 線引きも必要

**質問** 地方創生の核となる人口の減少問題の予算的危機感が見えていないが、どうお考えか。

**松本総務課長** 地方交付税等の依存財源74%、自主財源24.5%と自主財源の割合が非常に低い。限られた財源と人材でどのような町づくりに沿って推進。介護保険料高額県内2位の抑制を図る為、給付適正化事業を実施する。また、介護予防事業の充実と効果の検証をしていく。

りをしていくかが課題である。

**質問** その課題の中で、公立病院の経営上の危惧の中でさらに進められている消防署建設の負担金等の展望は。その線引きの覚悟はできているか。

**町長** 財政事情を考え「公立病院」については赤字経営なので規模等も視野に入れ、「消防署」については要望に対する線引きをしながら、取り組んでいく。

事業の見直しの必要性も含め、事業の連動、委託等は考えられないか。

**質問** 検証は大切であるし事業の見直しもするべきである。その中で、経営的課題を持つ社会福祉協議会の

**仲川健康・保険課長** 平成28年度から、生活支援コーデイネーターの配置の義務化により、社会福祉協議会に委託する。支援のニーズ調査をし、事業者とも情報を共有しながら地域生活支援を検討していく。

## Q えびすの湯事業は

### A 赤字解消に取り組む

**質問** ここ数年大幅な赤字がでているが、27年度の収支見込額と今後どのように展開していくのか伺いたい。

**平川町民福祉課長** 昨年

4月から2月までの入館者数は8万3千759人で3月末では2千330万円程の歳入を見込んでいる。収支は約3千890万円の赤字だが、そのうち空調取替工事が1千200万円。最終見込は約2千900万円の赤字である。

## Q 堆肥センター事業は

### A 公共性の事業として…

**質問** この事業は赤字がでているが、今後の対策は？

**小林農林課長** 平成27年度

の見込収支は821万円程の赤字である。前年度は別に、屋根修繕改修費用で4千860万円程支出している。今後は環境問題対策・

畜産農家のコスト軽減、また、雇用の確保等を公共性のある事業として考慮しなければならぬと思ってい

る。収入拡大において、本年の有機農業の推進、経費の削減等で、赤字縮小に努めていきたい。センターの

## Q 公共交通負担金は

### A 厳しい現状

**質問** 公共交通の負担金が増加しているが、今後の対策は。また、コミュニティバスを走らせるとい考えはないか。

**町長** 人吉球磨では、地域

公共交通活性化議会を立ち上げていく。その中で、今後くま川鉄道とバス路線両方を維持していくのは厳しいのではないかと思われる。10市町村でバス路線の

維持には、意識を共有し、畜産農家からの持込料の値上げについても検討していきたい。



豊永 好人



経営改善を



交通弱者の足の確保は



有機農業のために

山中 馨



**Q** 町の子供  
貧困率は

**A** 好転している

**質問** 子供貧困率が全国平均16.3パーセントとなり過去最高となっている。町の貧困率は

**白濱子ども対策課長** 貧困率の計算は単純には計算出来ず、町が把握している税情報のみでは算出困難となっている。18才未満の子供のいる世帯の平均所得は、25年度が40万2千335円

で26年度は41万2千990円となつて、6万655円の増加がみられる。

**質問** 困窮世帯の教育支援策は取られているのか

**平川町民福祉課長** 子供の学習支援事業は球磨福祉事務所管内の生活保護世帯、生活困窮世帯の子供を対象に週一回実施している。学習場所として本庁舎を提供し、現在7名から8名の子供が利用している。

**Q** 防犯カメラの設置は

**A** 隣接町村と協議

**質問** 近年犯罪の多様化の中で防犯カメラの必要性は高いと思われるが、本町の設置の考えは

**町長** 防犯カメラの重要性は認識している。今回の久米地区での行方不明者の捜

索の時も強く感じた。町を通る幹線道路等に隣接する町村と協議して設置を考えていきたい。



安全のための防犯カメラ

**Q** 公立病院の経営は大丈夫か

**A** 危機的状況にある

**質問** 公立病院の27年度の決算見込は

**松本総務課長** 27年度の決算見込み額は、病院事業3億2千321万円の赤字、シ

業3千911万円の赤字、合計3億2千945万円の赤字が見込まれる。

**質問** ここ近年の入院患者数と外来患者数は

	入院患者数 (月平均/人)	外来患者数 (年/人)
平成25年度	133	101,765
平成26年度	112	85,603
平成27年度 (11月末現在)	103	60,989

となつている。

**松本総務課長**

**質問** 病院の再建は開設者として町長はどう考えているか

**町長** 第一に医師の招聘の努力と、医師と職員が一致団結し、患者への対応等を改善していく。



急がれる経営改善

吉瀬 浩一郎



### Q 槻木移住希望者の現況は

### A 1家族が希望

**質問** 現在の形での「集落支援員制度」と住民の税金での数ある町政の施策の選択に疑問がある。2月のテレビ放映では国・県・町の予算という財政的視点での取材が欠けていたのでは。

**町長** 槻木地区は高齢化率が70%を超え、終末もこの地で迎えたいと思われている。この事に対して「集落支援制度」という総務省の制度の補助を利用していい。町の過疎化・高齢化が

進む中でモデル地区として位置づけて支援員の奮闘で地域が元気になっている事が伝わりテレビ放映は良かったと思っている。

**質問** すばらしい環境の槻木からなぜ若者が出て行かなければならなかったのかの取材をすべきであった。槻木の移住の現況はどうなっているのか。

**岡本企画観光課長** 現在7家族の方が地区を訪問している。その中で、福岡の1家族が移住を希望している。また1家族が検討中であり、他にも5件ある。また、空き家を借りて「シェアハウス」として利用したという人もいる。

### Q 集落支援員制度の評価は

### A 効果は確実にしている

**質問** 集落支援員が着任し今年の9月で3年目となる。税を使う事業は「最小の経費で最大の効果」という原則がある。「集落維持のためのノウハウの蓄積」「過疎対策を槻木だけに留

### A 移住促進に全力で

### Q 本気でやるのか「槻木夢ビジョン」

めるつもりはない」町以外の限界集落にも併用できる「経験の蓄積」をやると言われた。この間に具体的にどのような効果があったのか。評価はどうなっているのか。

**質問** 空き家をリフォームし移住者を募り、民間介護施設と診療所の併設を検討されている。この事業の問題は町長の地盤に町をあげて公金を投入することである。町の中心部はさびれるばかりであり、槻木に投入

した予算が効果的になるのかさえ疑わしい。槻木の対策より町中心部からの人口流出こそ全力を尽くすべきではないか。

**岡本企画観光課長** 過疎化の進んだ地区をモデル地区とし、その効果やノウハウ

**岡本企画観光課長** これまでの成果として地域方の手伝いはもとより伝統芸能の継承・県の助成を活用したアンテナショップの開催・インターネットでの農林産物の販売・移住に関するモニターツアーの開催など専従でやらなければ出来ない事業に取り組んでいる。今後も国の助成を活用しながら長いスパンでやっていく。

を他の地区にも波及させていく。後期計画の中でも、その事業を最優先事項として位置づけし、町全体の人口流失・移住促進に全力で取り組んでいきたい。



運動会も再開

久保田 武治



### Q 球磨川の河川整備は

### A 立木除去や 浚せつ作業を進める

**質問** 町内の球磨川河川の立木除去作業や河床の掘削・浚せつ計画は。

**久保環境整備課長** 昨年、国交省に立木伐採と浚せつの要望書を提出し、王宮橋右岸の立木伐採を実施しており、その後に浚せつを計

### Q 買い物弱者の支援は

### A 生活支援体制整備事業で

**質問** 高齢や運転免許証の返上などで買い物への不安を持つ人が増えている。買

い物弱者である後期高齢者の75才以上の一人暮らし、二人暮らしは何世帯で何人か。

**仲川健康・保健課長** 一人暮らし世帯が309人、二人暮

らしている。さらに天子橋上流左岸の浚せつと伐採、天子橋下流から柳橋川上流及び中鶴橋上流から仁原川までの伐採計画が進んでいる。

**質問** 人吉市と球磨村でタイムライン（事前防災行動計画）が策定されているが、本町での取り組みは。

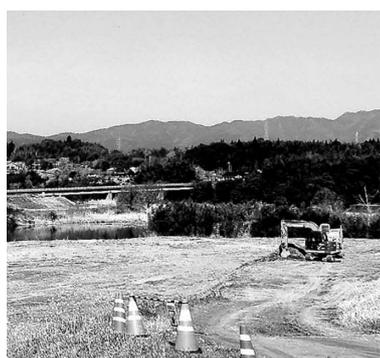
**松本総務課長** 災害が予想できる大雨と台風への防災

らしなどが196世帯で393人となっている。

**質問** 錦町で移動販売車による支援事業が始まるが、本町も実情の調査と検討をできないか。

**仲川健康・保険課長** 生活支援体制整備事業のなかで、検討とニーズ調査を進めたい。

画している。さらに天子橋上流左岸の浚せつと伐採、天子橋下流から柳橋川上流及び中鶴橋上流から仁原川までの伐採計画が進んでいる。



梅雨にむけて（王宮橋下流）

### Q 保育士の処遇や給料は

### A 厳しいと感じる

**質問** 新年度予算に第2子以降の保育料を20%軽減されたが、第1子の保育料軽減は検討されたか。

**町長** 検討したが、財政を考慮した上での提案である。今後の課題だとの認識はある。

**質問** 全国的に保育士の処遇や低賃金が問題になっている。公立の保育所でも派遣や委託・臨時に移行し、全職種平均で11万円も低い。第一、第三保育所の保育士の給料はいくらか。

**白濱子ども対策課長** 27年・28年同額で月額7千700円、通勤手当と資格手当を含めて15万9千円となっている。

**質問** この金額には、経験年数や年齢は考慮されているのか。

**白濱子ども対策課長** 考慮していない。全員一律で同額賃金である。

**質問** 今の金額は高いと思うか、安いと思うか。

**町長** 職業柄、厳しいと感じている。



指定管理の町立保育所

## Q 生涯学習センターの説明責任を

### A しっかりと進めたい

**質問** 生涯学習センター建設について議会に対し検討委員会で、多目的研修センターの改修で計画するとの結論を当初示された。また、町民大集会場については解体予定から、町民の「要望書」より保存へと方針転換された。それを議会も認めてきた経緯はあったが、大集会場を図書館とする事はまだ承認していない。住民や検討委員会においては、議会が研修センターに反対

しているとの誤解がある。今後、論議を重ね説明責任を果たすべきではないか。

**町長** 今回のことはまず反省し、議会との論議や検討委員会への報告等の手順をしっかりと進めていきたい。

**椎葉教育長** 議会や住民に対しては説明を行ってきたとは思いますが、浸透していきかったことは反省をしている。

## Q 今後「山積の課題」はどうする

### A 取り組んでいきたい

**質問** 新聞紙上に「旧白濱旅館改修について、議会には理解をしてもらっている」との記事があったが、そうでもないと思っ

ている。今後の生涯学習センター・中学校改修工事・歴

町50選事業・町民大集会場保存計画等、山積された課題の検討や、その説明責任をどう取り組むのか。

**町長** ご指摘の点については取り組んでいきたい。

## Q 「買い物難民」を中心部へ

### A 希望があれば

**質問** 75歳以上の一人暮らし老人が309人、二人暮らしは196世帯で392人である。移動手段が困難な方に希望をとり、町の中心地の空き家等への移住・定住の考えはないか。

**町長** 空き家対策の一環としても検討に値すると思うが、不便とあっていともこれまでの人間関係でそこを離れたくない人や、貸す側の問題もあるようである。希望される方がいればマッ

チングを考えていかなければならない。



中村 正徳



大集会場 解体から保存へ

町50選事業・町民大集会場保存計画等、山積された課題の検討や、その説明責任をどう取り組むのか。

町50選事業・町民大集会場保存計画等、山積された課題の検討や、その説明責任をどう取り組むのか。



弱者対策での糸びす畑



旧白濱旅館の改修は

瀬崎 哲弘



**Q** 人材育成の考えは

**A** 研修の機会を

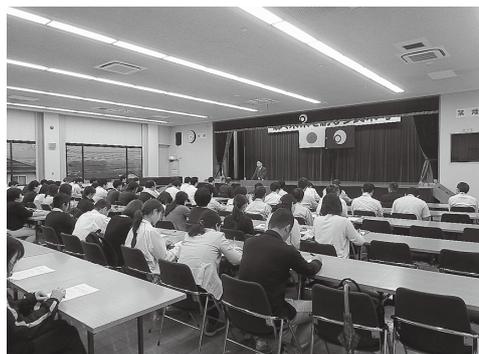
とも考えられる「我慢」を教えて頂くことだと思っ  
ている。

**質問** 次世代を担う人材育  
成に、先進地研修などを実  
施し、行政職員を含め、町  
のリーダー育成としての教  
育が必要ではないか。

**松本総務課長** 職員研修と  
しては、役職別に研修があ  
り、市町村アカデミー・自  
治大学校派遣をしている。  
**町長** 様々な業種を対象と  
した研修等の機会を捉え、  
人材育成をしていきたい。

**質問** 人材教育が子どもだ  
けに特化されているように  
思うが。

**町長** 子どもの教育は、社  
会の現状を見たとき、その  
目的は学力をつける事であ  
るが、これから大切なのは  
協調性を養う中で相手のこ



研修の場を

**Q** 元気老人の幸せ感

**A** 仕組み・提供の場の活用を

**質問** 高齢者の幸せの実感  
はどうか。町の発想の  
転換が必要と思うが、介  
護者のみでなく、元気老人の  
通所サービスの利用など、  
生活環境整備等は考えられ  
ないか。

ルーン体操」等を行ってい  
るが、仕組み・提供の場の  
活かし方、周知の徹底を図  
りたい。

**町長** 社会福祉協議会で  
「いきいきサロン」「ガンバ

**仲川健康・保険課長** 介護  
保険の改正による総合事業  
として、65歳以上対象で平  
成29年度より開始が決定し  
ている。通所型のデイサー

**Q** 移住者対策の考えは

**A** 理解と協力を願いたい

**質問** 槻木地区について  
は、メディア等で支援員の  
活動がクローズアップされ  
ているが、本質は、それぞ  
れの理由で地域を離れて行

かれた住民の考えにあるの  
ではないのか。

**町長** メディアの報道内容  
については頼める立場では  
なく、地域を離れて行かれ

た事情は承知している。

**質問** 地域おこし協力隊に  
ついては、地域の人・産業  
が必要とする人を雇用すべ  
きではないか。

**町長** 3人を募集してお  
り、期限を決めず、責任を  
持つて各関係機関と相談し  
ながら採用していきたい。



期待される新事業

## 議会傍聴

### 多良木高等学校2年生の 選挙権18歳以上に引き下げを受けて

3月15日 2年生63名が午前と午後に分かれ、議会の一般質問を傍聴。  
公職選挙法改正に伴う選挙権の引き下げを受け、主権者教育の一環として、政治的関心を深め確かな政治的判断力を養うことを目的としたものである。今回の議会傍聴をもとに、地域の課題やその解決策を考察し、意見をまとめるということである。その結果を次回「議会だより」に掲載する。  
(傍聴する多高生)



## 議員研修

### 「地方自治に関する最近の動きと展望」

2月10日 あさぎり町のせきれい館において球磨郡町村議員研修会が講師・全国市町村国際文化研修所教務部長兼調査研究部長の小西敦氏を迎え『地方自治に関する最近の動きと展望』という演題で講演が行われた。

平成28年地方財政対策のポイントや地方創生交付金の概要説明とともに「なぜ、今行政改革を論議するのか」という命題にはいった。

今回の行政改革は集中改革プランの要請以来10年ぶりで、「量的改革から質的な改革へ」変える必要性和経済諮問委員会からの要請を背景に、平成27年8月の総務省の通達「地行政サービス改革の推進に関する留意事項」を受けての改革である。

#### 本町の取り組みとして見えた課題としては！

#### 行政サービスのオープン化・アウトソーシング等の推進

- 1) 行政業務の民間委託等の推進の必要性
- 2) 公共施設の維持管理への指定管理者制度等の活用の必要性
- 3) 行政業務・事業に於ける地方独立行政法人制度の活用の必要性
- 4) BPR(既存の組織やルールを抜本的に見直し、職務、業務フロー、管理機構、情報システムを再設計、再構築することで業務改革を行うこと)の手法やICTを活用した業務の見直し。  
(例) 窓口業務は臨時給与で賄う等

#### 地方自治体の「財政マネジメント」の強化の必要性

- 1) 公共施設等総合管理計画の策定促進→収入・雇用拡大の場としての計画等 PPP・PFI の拡大の必要性 (PFI 法・PFI 推進室がある)

私見の中に、政策情報の共有・政策実施の共同化として、市町村間で効率性の高い所を利用し合う「横展開」を言われた。

まさに地方創生にあっては、『人吉球磨という広域での「共生」』が、核になると思われる研修であった。

文責 高橋 裕子

PPP →公共と民間が連携し、それぞれの強みを生かして最適な公共サービスの提供を実現する手法であり、PFI、包括的民間委託、指定管理者制度等多様な手法を含む。

PFI →公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法であり、より質の高い公共サービスの提供を目指す。

## 日本遺産に文化庁が認定

「日本遺産」は、地域の歴史的魅力や特色を通じて文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定したものです。

「日本遺産」に認定された地域は認知度が高まり、遺産を通じた取組を行うことで地域のブランド化や、ひいては地方創生に大いに資するものと考えられ、国内外へも戦略的に発信し地域の活性化を図ることを目的としています。そこであらためて本町で認定された「遺産」のおもなものをシリーズでご紹介します。



JAPAN HERITAGE

日本遺産

(町の資料より抜粋)

### シリーズ5

#### 槻木大師堂の 弘法大師像

(県指定文化財)



槻木大師堂の祀られている弘法大師像です。像高56.1センチ・ヒノキ材の一本造りの丸彫りで内彫りがありません。台座に墨書銘文があり、応永19年(1412)に相良頼仙を大願主に仏師に秀永が作成されています。

### シリーズ6

#### 多良木相良氏 関係史跡

町には相良氏が鎌倉時に下向した後在地に受けられるまで苦心した時期の館跡とその当時民衆のために開削した灌漑用水などの多良木相良の関連史跡が数多くあります。

- 1、「古多良木の塞(城)」(東城跡)
- 2、相良頼景館跡
- 3、蓮花寺古塔碑群
- 4、青蓮寺古塔碑群
- 5、東光寺磨崖梵字
- 6、内城
- 7、里ノ城(多良木之城)
- 8、鍋城跡
- 9、長運寺薬師堂の木造薬師如来像



史跡の町 多良木

(一部記載)

## 熊本地震の被災者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。



### 広報特別委員会構成

- ◎ 山中 馨 久保田武治
- 高橋 裕子 宇佐 信行
- 林田 俊策 豊永 好人

▼花笑う時節、別れと新たな出会い、そして出発の季節でもある。さて、新年度予算を決める大切な三月議会が終わった。当初計画した旧白濱旅館と図書館創設事業費を執行部が取り下げたり、予算に対する修正動議が出たり、議員発議で学校給食費の半額助成を求める決議案を提出したり、忙しい議会ではあったが、改めて議会や議員の責任と役割を自覚した次第であった。

▼石破地方創生担当大臣が、人口減少が進む地方の現状を「公共事業と企業誘致に頼れば豊かになる時代は終わった」と指摘し、交付金などは、「全国一律に力ネをばらまかない。頑張る自治体を支援する」と述べたが、地方自治法は住民の福祉の増進を図ることを基本に、国の役割と責任を規定しており、自治体の切り捨ては許されない。地方の疲弊がどうして進んだのか、なぜ商業や農林業が衰退し、少子化が進んでいるのか。そもそも国策に誤りは無かったのか、どんな施策や財政措置が必要なのか。それらの分析と、適切な処方箋が示されているのだろうか。議会に問われている課題は重い。

(文責 久保田武治)

## 編集後記